

## 《参考資料》

### ○用語解説

#### ① スポーツ（スポーツ基本法 前文から）

スポーツは、世界共通の人類の文化である。

スポーツは、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵（かん）養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動であり、今日、国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠のものとなっている。（略）

スポーツは、次代を担う青少年の体力を向上させるとともに、他者を尊重しこれと協働する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い、実践的な思考力や判断力を育む等人格の形成に大きな影響を及ぼすものである。

また、スポーツは、人と人との交流及び地域と地域との交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成するものであり、人間関係の希薄化等の問題を抱える地域社会の再生に寄与するものである。さらに、スポーツは、心身の健康の保持増進にも重要な役割を果たすものであり、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠である。

（略）スポーツは、我が国社会に活力を生み出し、国民経済の発展に広く寄与するものである。（略）スポーツは、我が国の国際的地位の向上にも極めて重要な役割を果たすものである。

#### ② スポーツ基本法

スポーツに関する基本理念を定め、国及び地方公共団体の責務並びにスポーツ団体の努力等を明らかにするとともに、スポーツに関する施策の基本となる事項を定める法律。スポーツ振興法（昭和36年）を50年ぶりに全部改正し、平成23年6月に公布、同年8月から施行された。

#### ③ 第2期スポーツ基本計画

スポーツ基本法（2011（平成23）年公布・施行）に基づき、文部科学大臣が定める計画。第2期は2017（平成29）年度～2021（平成33）年度。

この第2期計画では、「スポーツの価値」を、

- ① スポーツで「人生」が変わる！
- ② スポーツで「社会」を変える！
- ③ スポーツで「世界」とつながる！
- ④ スポーツで「未来」を創る！

という4つの観点で具現化した上で、「スポーツ参画人口」を拡大し、スポーツの枠を超えて異分野と積極的に連携・協働することで「一億総スポーツ社会」の実現に取り組むことを、基本方針として提示した。

#### ④ 国民体育大会（第78回大会から「国民スポーツ大会」）

昭和21年に京阪神地方で第1回大会開催。昭和36年からは、国のスポーツ振興法に定める重要行事として、主催を（財）日本体育協会（現：（公財）日本スポーツ協会）、文部科学省、開催地都道府県とし、各競技会は日体協（現：日ス協）加盟競技団体及び会場地市町村を含めたものとして、本大会は、毎年各県持ち回りで開催されている。

正式種目の順位を得点に置き換えて争い、本大会及び冬季大会の通算で男女総合成績第1位の都道府県に「天皇杯」が、女子総合成績第1位の都道府県に「皇后杯」が授与される。

スポーツ基本法の一部を改正する法律により、「国民体育大会」は、2023年に佐賀県開催の第78回大会から「国民スポーツ大会」へ改称される。このため、本県で、2025年に開催予定の第80回大会についても、「第80回国民スポーツ大会」となる。また、略称は「国スポ」、英語表記は「JAPAN GAMES」となる。

#### ⑤ 青森県競技力向上基本計画

本県では、2025年に本県で開催予定の第80回国民スポーツ大会を見据えて、平成29年6月に青森県競技力向上対策本部を設置するとともに、平成30年1月には、選手の発掘・育成・強化や指導者養成等の指針となる「青森県競技力向上基本計画」を策定した。

この計画では、目標を「天皇杯の獲得」とし、目標実現に向けた取組を、「推進体制の確立」、「選手の発掘・育成・強化」、「指導体制の確立」、「諸条件の整備」の4つの柱に分けて整理し、国民スポーツ大会終了後も持続可能な競技スポーツの振興を目指し、総合的な競技力向上に取り組むこととしている。

#### ⑥ 人財

本県では、平成19年9月、「あおもりを愛する人づくり戦略」を策定しており、その基礎となる考え方として、「人は石垣、人は城、そして人は財（たから）であり、何事を成すにも「人財」が基本である」とし、「人」、「人材」などを「人財」と表している。

#### ⑦ 総合型地域スポーツクラブ

地域住民によって自主的・主体的に運営されるスポーツクラブである。子どもから大人まで（多世代）、様々なスポーツを愛好する人が（多種目）、初心者からトップレベルまでそれぞれの趣向・レベルに合わせて参加できる（多志向）という特徴を持つ。

#### ⑧ 県民の健康・スポーツに関する意識調査

平成30年6月、郵送回収法により、青森県内に在住する満20歳以上の男女2,000人を対象に調査、823人（有効回答数679人）から回答。

##### ※スポーツ庁調査

文部科学省が、昭和54年度から概ね3年ごとに「体力・スポーツに関する世論調査」を実施してきたが、平成27年にスポーツ庁が発足し、平成28年度から、「スポーツの実施状況等に関する世論調査」として実施している。調査方法に関しては、平成28年度に調査員による個別面接聴取から登録モニターを対象としたWEBアンケート調査（標本数20,000人）に変更された。

#### ⑨ 学校保健統計調査

学校保健安全法により、毎年定期に行われている健康診断に基づき、児童生徒の発育及び発達状態を明らかにする調査。小学校・中学校・高等学校の全児童生徒を対象とする。ただし、高等学校の生徒のうち、全日制課程及び定時制課程に在籍する満18歳以上の生徒等及び通信制課程の生徒は除く。

⑩ 肥満傾向児

肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。

痩身傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が-20%以下の者である。

※ 肥満度 = (実測体重 - 身長別標準体重) / 身長別標準体重 × 100%

⑪ 新体力テスト調査

本県では、スポーツ庁で示す「新体力テスト実施要項」に基づき、小学校、中学校、高等学校の男女児童生徒を対象に体力調査を実施している。

・平成29年度標本数

小学生（1年～6年） 58,027名

中学生（1年～3年） 31,889名

高校生（1年～3年） 25,114名

・新体力テスト

（握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・持久走（12歳以上選択）  
20m シャトルラン（11歳以下必実施、12歳以上選択）・50m 走・立ち幅とび  
ボール投げ）

・ライフスタイル調査

（運動部やスポーツクラブへの所属状況、運動・スポーツの実施状況、  
1日の運動・スポーツ実施時間、朝食の有無、1日の睡眠時間、  
1日のテレビ視聴時間）

⑫ 競技人口調査

（公財）青森県体育協会に加盟する58競技団体（中学校体育連盟・高等学校体育連盟を除く）の競技人口調査。小学生、中学生、高校生、大学生、一般の登録選手数の他、一部競技においては登録外の競技人口を含めている。直近では、平成29年度に実施している。

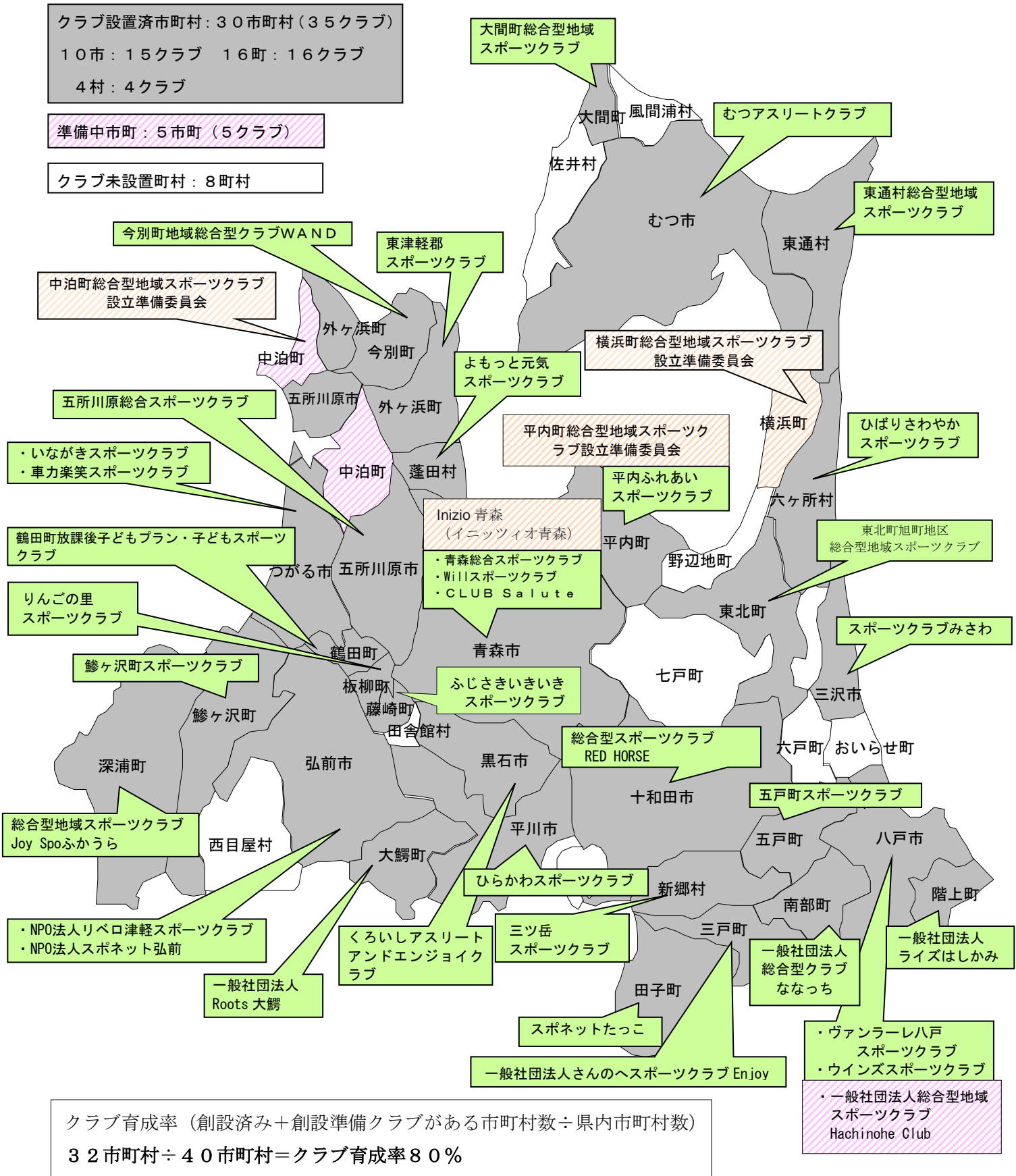
⑬ 青森県スポーツ科学センター

スポーツ科学を活用した競技力向上等を目的に、平成15年7月に青森市宮田地区の新総合運動公園内に開設された。

- ・「体力測定」－専門的な測定機器を用い、身体機能や運動能力を測定し、評価する。また、測定結果に基づき、利用者の体力及びトレーニングに関する情報を提供する。
- ・「動作分析」－スポーツの様々な場面で発生する動きをバイオメカニクス的手法を使って分析し、動きの向上・改善のヒントを提供する。
- ・「リコンディショニング」－スポーツ傷害による競技者の競技復帰までのアスレチック・リハビリテーションを実施する。個人の競技レベルやトレーニング環境に合わせたプログラムの提供、及び受傷部位へのケアや、低下した運動機能を回復するためのトレーニングの指導などを通して、競技力向上に向けた支援を行う。
- ・「心理サポート」－競技スポーツ選手やスポーツ愛好家、及びスポーツチーム（集団）がより充実した競技生活を送っていき、より望む姿（チーム状況）に近づいていくことを、スポーツ心理学に基づいて心理面からサポートする。

- ⑭ スポーツ推進委員（旧「体育指導委員」）（スポーツ基本法第 32 条から）  
市町村の教育委員会が市町村におけるスポーツの推進に係る体制の整備を図るため委嘱する非常勤職員。近年、スポーツの実技指導やその他スポーツに関する指導及び助言のみならず、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整としての役割が重要性を増していることから、平成 23 年のスポーツ基本法施行にあわせて「体育指導委員」から「スポーツ推進委員」に名称変更された。
- ⑮ 運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン  
義務教育である中学校（義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程、特別支援学校中学部を含む。）段階の運動部活動を主な対象とし、生徒にとって望ましいスポーツ環境を構築するという観点に立ち、運動部活動が、地域、学校、競技種目等に応じた多様な形で最適に実施されることを目指し、平成 30 年 3 月にスポーツ庁が策定したガイドラインのこと。
- ⑯ 運動部活動の指針  
県教育委員会が、「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」（平成 30 年 3 月 スポーツ庁）に則り、小学校・中学校・高等学校それぞれの段階における運動部活動（小学校においては、社会体育へ移行途上のスポーツ少年団を含む。）を対象として、本県の実情を踏まえるとともに、運動部活動が地域、学校、競技種目等に応じた多様な形で最適に実施されることを目指して策定した指針のこと。
- ⑰ スポーツデンティスト  
歯科医師免許取得後 4 年を経過し、受講条件を満たした上で（公社）日本歯科医師会及び（公財）日本スポーツ協会が認めた歯科医師である。  
役割としては、
  - ・ 歯科医師の立場からスポーツにかかわる国民の健康管理、スポーツ障害、スポーツ外の診断・予防、研究等
  - ・ 競技会等の医事運営の支援並びにチームデンティストとしての参加
  - ・ スポーツ歯科医学の研究、教育、普及活動などが挙げられる。
- ⑱ スポーツファーマシスト  
最新のアンチ・ドーピング規則に関する知識を有する薬剤師である。（公財）日本アンチ・ドーピング機構が定める所定の課程（アンチ・ドーピングに関する内容）終了後に認定される。  
活動例としては、
  - ・ 国民体育大会（第 78 回大会から国民スポーツ大会）に向けての都道府県選手団への情報提供、啓発活動
  - ・ 学校教育現場におけるアンチ・ドーピング情報を介した医薬品の使用に関する情報提供、啓発活動などが挙げられる。

資料1 青森県総合型地域スポーツクラブ設置状況（平成30年4月1日現在）



資料2 国民体育大会における天皇杯順位・得点の推移（第64回～73回大会）

順位	第64回(平成21年)			第65回(平成22年)			第66回(平成23年)			第67回(平成24年)			第68回(平成25年)					
1位	新潟	64	2426.00	千葉	65	○	2921.50	山口	66	2220.50	岐阜	67	3028.50	東京	68	○	3486.00	
2位	東京	○	1910.00	東京	68	○	2171.50	東京	68	○	2053.50	東京	68	○	2031.00	大阪	○	1839.50
3位	大阪	○	1767.00	神奈川	○	1795.00	愛知	○	1953.33	愛知	○	1960.00	埼玉	○	1813.50			
4位	埼玉	○	1739.50	埼玉	○	1754.50	岐阜	67	1669.00	埼玉	○	1922.00	愛知	○	1811.00			
5位	神奈川	○	1643.00	大阪	○	1629.50	大阪	○	1633.00	大阪	○	1594.50	岐阜	67	1681.00			
6位	千葉	65	○	1589.50	愛知	○	1578.50	神奈川	○	1628.83	神奈川	○	1490.00	神奈川	○	1617.83		
7位	北海道	○	1507.00	京都	○	1443.00	千葉	65	○	1612.50	千葉	65	○	1444.00	千葉	65	○	1524.50
8位	愛知	○	1502.50	兵庫	○	1442.00	埼玉	○	1546.50	京都	○	1429.00	福岡	○	1410.00			
9位	京都	○	1507.00	福岡	○	1437.00	広島	○	1460.50	福岡	○	1413.00	北海道	○	1330.50			
10位	兵庫	61	○	1324.50	北海道	○	1419.50	北海道	○	1392.50	北海道	○	1406.00	長崎	69	121.50		
11位	広島	○	1248.50	岐阜	67	1302.50	兵庫	○	1341.50	兵庫	○	1401.50	京都	○	1197.00			
12位	岡山		1238.00	広島	○	1266.50	福岡	○	1341.50	広島	○	1148.50	兵庫	○	1183.00			
13位	熊本		1210.00	山口	66	1230.50	京都	○	1299.50	岡山		1137.00	栃木		1037.25			
14位	大分	63	1209.00	岡山		1164.50	岡山		1272.00	静岡	○	1103.00	群馬		1036.50			
15位	宮城		1201.50	長野		1138.50	長崎	69	1055.50	山口	66	1066.50	広島	○	1036.00			
16位	岐阜	67	1194.50	新潟	64	1097.00	山梨		1012.00	群馬		1052.00	岡山		1023.25			
17位	群馬		1175.50	静岡	○	1067.50	長野		983.50	長野		1026.00	長野		1002.50			
18位	長野		1147.00	大分	63	1039.00	熊本		972.50	栃木		1005.50	和歌山	70	990.50			
19位	福岡	○	1136.00	宮城		1036.50	秋田		971.00	大分		955.00	山形		974.50			
20位	長崎		1034.33	群馬		1014.00	宮城		962.50	長崎	69	939.50	静岡	○	968.75			
21位	静岡	○	1029.00	熊本		995.50	群馬		961.00	和歌山	70	934.50	宮城		955.00			
22位	石川		1020.50	石川		966.00	静岡	○	959.00	新潟	64	933.00	大分		944.00			
23位	茨城	○	995.33	茨城	○	954.50	佐賀		957.50	熊本		930.50	岩手	71	943.00			
24位	香川		977.00	香川		947.00	大分	63	953.50	福井		916.00	福井		938.00			
25位	鹿児島		932.00	富山		943.50	愛媛		939.50	宮城		905.00	新潟		935.50			
26位	栃木		908.00	山梨		942.00	香川		925.00	石川		904.50	愛媛		932.75			
27位	山形		898.50	栃木		929.00	栃木		920.00	富山		891.00	熊本		923.50			
28位	山口	66	890.50	秋田	62	881.50	宮崎		919.00	山形		883.00	石川		903.00			
29位	佐賀		888.50	青森		880.00	青森		913.50	香川		883.00	茨城	○	886.50			
30位	秋田	62	868.00	滋賀		866.00	福井		891.00	佐賀		846.00	香川		880.00			
31位	山梨		859.00	長崎		834.00	石川		877.00	鹿児島		845.00	山梨		856.50			
32位	福井		837.00	三重		816.50	三重		858.50	滋賀		819.00	山口	66	848.50			
33位	奈良		833.00	岩手		812.50	新潟	64	843.50	茨城	○	817.50	富山		842.50			
34位	青森		803.50	福井		808.50	滋賀		825.00	愛媛		817.00	青森		840.00			
35位	福島		788.00	奈良		793.50	奈良		815.50	奈良		814.50	福島		816.50			
36位	愛媛		777.00	山形		788.50	茨城	○	802.00	秋田		814.00	鹿児島		815.50			
37位	富山		773.00	和歌山		780.50	富山		798.83	宮崎		794.50	奈良		787.00			
38位	滋賀		758.00	愛媛		770.50	鹿児島		777.50	三重		792.50	宮崎		778.00			
39位	岩手		744.00	鹿児島		769.50	沖縄		760.50	岩手		790.00	秋田		774.50			
40位	徳島		739.50	佐賀		767.50	福島		727.00	青森		770.50	滋賀		763.83			
41位	沖縄		736.50	宮崎		729.50	岩手		715.00	山梨		751.00	三重		745.00			
42位	島根		719.50	島根		724.00	山形		713.00	沖縄		694.00	高知		721.50			
43位	和歌山		705.00	福島		715.50	和歌山		670.00	福島		685.00	沖縄		719.50			
44位	三重		691.00	徳島		655.00	鳥取		628.00	鳥取		660.50	佐賀		651.00			
45位	高知		663.50	沖縄		636.50	島根		579.50	島根		597.00	鳥取		620.00			
46位	宮崎		622.50	鳥取		629.50	高知		536.50	徳島		597.00	島根		575.83			
47位	鳥取		598.50	高知		511.00	徳島		525.00	高知		567.00	徳島		536.50			

注-1 表中の数字は、国体開催府県であることを表す（70→第70回大会開催県）。開催年及び前後3年分を示した。

注-2 表中の○印は、人口250万人以上の都道府県であることを表す。都道府県の人口は、平成20年度社会生活統計指標（総務省統計局）による。

第69回(平成26年)				第70回(平成27年)				第71回(平成28年)				第72回(平成29年)				第73回(平成30年)				順位
長崎	69		2364.00	和歌山	70		2257.00	東京	68	○	2532.50	東京		○	2535.00	福井	73		2896.00	1位
東京	68	○	2113.50	東京	68	○	2052.50	岩手	71		1924.00	愛媛	72		2395.50	東京		○	2246.00	2位
愛知		○	1886.50	愛知		○	1977.50	埼玉		○	1893.00	埼玉		○	1787.50	大阪		○	1880.00	3位
大阪		○	1807.50	埼玉		○	1904.50	愛知		○	1777.50	大阪		○	1784.00	埼玉		○	1825.50	4位
埼玉		○	1702.50	大阪		○	1806.50	千葉		○	1676.00	神奈川		○	1674.50	千葉		○	1708.50	5位
神奈川		○	1649.50	神奈川		○	1626.00	大阪		○	1642.00	愛知		○	1643.50	愛知		○	1687.50	6位
福岡		○	1509.50	千葉		○	1528.50	愛媛	72		1531.00	福井	73		1588.50	神奈川		○	1611.00	7位
北海道		○	1484.50	福岡		○	1519.50	神奈川		○	1520.00	千葉		○	1531.50	福岡		○	1468.00	8位
岐阜	67		1439.50	北海道		○	1393.00	北海道		○	1408.00	福岡		○	1415.50	北海道		○	1407.25	9位
千葉		○	1394.00	京都		○	1293.50	岐阜			1354.50	北海道		○	1287.50	兵庫		○	1312.50	10位
兵庫		○	1314.00	岡山			1222.50	兵庫		○	1293.00	京都		○	1278.50	岡山			1288.50	11位
京都		○	1222.50	兵庫		○	1215.50	京都		○	1289.00	兵庫		○	1237.50	愛媛	72		1235.00	12位
岡山			1195.50	愛媛	72		1203.50	福岡		○	1286.00	岐阜			1151.00	長野			1233.50	13位
群馬			1139.00	長野			1150.50	広島		○	1192.50	岩手	71		1125.00	岐阜			1232.50	14位
和歌山	70		1063.00	岐阜	67		1130.50	岡山			1146.00	広島		○	1123.50	京都		○	1156.00	15位
石川			1027.50	岩手	71		1099.00	静岡		○	1093.50	岡山			1073.50	茨城	74	○	1120.00	16位
福井			1018.50	長崎	69		1070.50	新潟			1054.00	静岡		○	1071.50	鹿児島	75		1041.00	17位
広島		○	1012.50	熊本			1038.50	福井	73		1052.50	長野			1057.50	広島		○	1033.75	18位
宮崎			1001.00	栃木			1029.00	長野			1041.50	奈良			990.50	静岡		○	1033.50	19位
長野			997.00	静岡		○	1015.50	和歌山	70		1008.50	秋田			989.00	三重	76		995.50	20位
愛媛	72		984.50	広島		○	1000.50	富山			988.50	栃木			964.00	大分			974.50	21位
山口	66		971.50	群馬			997.50	茨城	74	○	981.50	群馬			950.00	富山			966.50	22位
栃木			966.50	宮城			956.50	山梨			953.50	茨城	74	○	948.00	石川			956.00	23位
熊本			935.00	滋賀			940.00	宮城			948.00	長崎	69		940.00	岩手	71		939.50	24位
宮城			934.00	大分			930.50	群馬			934.00	大分			936.50	奈良			919.00	25位
静岡		○	917.00	福井	73		920.50	山形			929.00	和歌山	70		934.50	熊本			915.50	26位
鹿児島			897.50	三重			918.00	三重			920.00	三重			909.00	和歌山	70		912.50	27位
大分			896.00	山口			904.50	長崎	69		919.50	石川			906.50	栃木			875.50	28位
山梨			892.00	石川			887.00	山口			906.50	熊本			903.00	香川			859.50	29位
山形			870.00	香川			879.00	栃木			903.50	香川			888.00	宮城			859.00	30位
茨城		○	852.50	福島			866.00	熊本			899.50	山形			873.50	滋賀			854.50	31位
三重			834.00	茨城		○	839.00	鹿児島			895.00	新潟			871.00	群馬			846.00	32位
富山			830.50	奈良			834.50	滋賀			888.00	鹿児島	75		864.50	佐賀			826.50	33位
福島			823.00	山梨			818.50	奈良			869.00	宮城			842.00	山形			817.25	34位
滋賀			810.50	富山			807.00	福島			843.50	青森			827.50	山口			813.00	35位
奈良			810.50	山形			801.50	石川			838.00	富山			821.00	山梨			803.00	36位
岩手	71		807.50	鹿児島			799.50	秋田			817.50	山梨			812.50	新潟			792.50	37位
鳥取			790.00	秋田			774.50	大分			786.00	島根			806.00	秋田			787.50	38位
佐賀			783.00	新潟			767.00	宮崎			768.50	滋賀			802.50	宮崎			780.50	39位
新潟			780.00	青森			722.50	青森			759.50	山口			797.50	鳥取			751.00	40位
香川			779.50	鳥取			722.50	香川			759.50	福島			768.00	長崎			725.00	41位
秋田			769.00	宮崎			707.50	鳥取			753.50	鳥取			751.50	青森			692.50	42位
青森			758.50	佐賀			687.50	佐賀			739.50	佐賀			730.50	沖縄			655.50	43位
沖縄			726.00	島根			648.50	沖縄			702.00	宮崎			702.00	福島			654.00	44位
島根			555.00	沖縄			633.00	島根			632.00	沖縄			670.00	徳島			607.50	45位
徳島			550.00	徳島			605.50	徳島			540.50	徳島			613.50	島根			533.00	46位
高知			539.00	高知			576.50	高知			455.50	高知			552.50	高知			506.75	47位

## 資料3 (公財)青森県体育協会加盟団体における競技人口

平成29年4月

NO	団体名	平成26年度競技人口 (人)	平成29年度競技人口 (人)	平成26年度と比較した増減		
				増	減	変わらない
1	(一財)青森県スキー連盟	2,203	2,060		○	
2	青森県スケート連盟	173	184	○		
3	青森県アイスホッケー連盟	996	855		○	
4	青森県水泳連盟	998	1,096	○		
5	青森県ボート協会	172	149		○	
6	青森県セーリング連盟	60	49		○	
7	青森県カヌー協会	9	11	○		
8	(一財)青森陸上競技協会	7,316	7,021		○	
9	(一社)青森県サッカー協会	9,428	8,587		○	
10	青森県テニス協会	1,495	1,409		○	
11	青森県ホッケー協会	90	75		○	
12	青森県アマチュアボクシング連盟	167	162		○	
13	青森県バレーボール協会	4,683	4,482		○	
14	青森県体操協会	380	385	○		
15	青森県バスケットボール協会	11,381	11,264		○	
16	青森県レスリング協会	223	237	○		
17	青森県ウエイトリフティング協会	112	112			○
18	青森県ハンドボール協会	713	735	○		
19	青森県自転車競技連盟	91	83		○	
20	青森県ソフトテニス連盟	5,533	5,053		○	
21	青森県卓球連盟	6,012	5,950		○	
22	青森県軟式野球連盟	9,674	8,311		○	
23	青森県相撲連盟	135	204	○		
24	青森県馬術連盟	99	105	○		
25	青森県柔道連盟	1,586	1,446		○	
26	青森県ソフトボール協会	2,419	1,874		○	
27	青森県フェンシング協会	95	96	○		
28	青森県バドミントン協会	3,043	3,236	○		
29	青森県弓道連盟	1,683	1,303		○	
30	青森県ライフル射撃協会	13	19	○		
31	青森県剣道連盟	2,244	2,163		○	
32	青森県ラグビーフットボール協会	1,005	900		○	
33	青森県山岳連盟	26	102	○		
34	青森県クレール射撃協会	18	16		○	
35	青森県銃剣道連盟	408	424	○		
36	青森県アーチェリー協会	250	250			○
37	青森県空手道連盟	837	478		○	
38	青森県なぎなた連盟	157	148		○	
39	青森県ボウリング連盟	503	460		○	
40	青森県少林寺拳法連盟	290	210		○	
41	青森県躰道協会	44	68	○		
42	青森県トランポリン協会	40	※体操協会へ			
43	青森県ゴルフ連盟	270	233		○	
44	青森県ゲートボール協会	600	453		○	
45	青森県バイアスロン連盟	34	20		○	
46	青森県合気道連盟	150	200	○		
47	青森県武術太極拳連盟	964	936		○	
48	青森県綱引連盟	80	脱退			
49	青森県ボールルームダンス連盟	180	124		○	
50	青森県グラウンド・ゴルフ協会	2,172	1,943		○	
51	青森県カーリング協会	213	221		○	
52	青森県ユニバーサルホッケー協会	50	脱退			
53	青森県トライアスロン協会	44	68	○		
54	青森県バウンドテニス協会	228	241	○		
55	青森県ダンススポーツ連盟	201	202	○		
56	青森県ウォーキング協会	1272	1030		○	
57	青森県パークゴルフ協会連合会	734	729		○	
58	青森県エアロビック連盟	30	180	○		
合計		84,026	78,352	19	34	2



資料4 平成29年度 小学校スポーツ活動 調査結果集計 【調査対象校数 289校(公立:288 国立:1)】  
青森県教育庁スポーツ健康課(平成29年12月調査実施)

※児童のスポーツ活動の状況をより正確に把握するため、今年度は運動部活動に限定したまとめとし、参考資料として社会体育における活動状況を記載。

1 運動部活動加入状況について

児童数・加入数	児童の状況													
	3年以下		4年		5年		6年		4～6年合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女	計	男	女	計		
児童数	14,694	14,166	5,125	4,864	5,129	5,135	5,122	5,001	15,376	15,000	30,376	30,070	29,166	59,236
加入数	500	345	1,624	1,266	1,771	1,344	1,731	1,163	5,126	3,773	8,899	5,626	4,118	9,744
加入率	3.4%	2.4%	31.7%	26.0%	34.5%	26.2%	33.8%	23.3%	33.3%	25.2%	29.3%	18.7%	14.1%	16.4%

※2つの運動部活動に重複して加入している児童は含まない。

2 種目別部活動数及び加入状況、顧問及び指導者について

種目名	部活動数	加入状況												顧問及び指導者											
		1～3年		4年		5年		6年		合計		教員( )は実技指導ができない人数				教員以外の学校職員									
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女								
野球	122	265	22	616	39	667	48	706	30	2,254	139	2,393	223	22	199	185	3	0	150	1					
ミニバスケットボール	85	50	166	337	517	333	586	338	501	1,058	1,770	2,828	114	23	216	151	1	1	81	19					
卓球	86	52	67	291	400	306	325	233	279	882	1,071	1,953	91	23	226	153	6	1	30	22					
サッカー	25	45	5	173	11	220	22	194	9	632	47	679	35	5	37	36	1	0	37	0					
陸上	34	18	18	137	127	175	148	173	164	503	457	960	61	2	67	26	0	1	6	0					
バレーボール	15	0	12	4	95	5	87	7	88	16	282	298	17	4	37	28	0	0	12	9					
ソフトバレーボール	1	0	0	1	1	4	10	3	7	8	18	26	1	0	2	2	0	0	0	0					
ソフトボール	11	0	17	0	27	1	45	0	38	1	127	128	15	2	19	18	1	0	12	0					
フットサル	8	12	5	18	12	11	5	28	10	69	32	101	18	2	7	4	1	0	9	0					
アルペンスキー	1	0	0	0	1	1	0	1	2	2	3	5	1	1	0	0	0	0	2	0					
水泳	2	4	2	2	4	3	3	4	3	13	12	25	0	0	4	1	0	0	0	1					
剣道	3	9	2	7	4	8	4	10	1	34	11	45	5	2	4	4	1	0	1	0					
相撲	4	21	2	13	0	7	0	6	0	47	2	49	5	4	5	5	0	0	6	0					
スピードスケート	4	2	7	9	2	3	4	6	2	20	15	35	4	2	2	2	0	0	0	2					
バトン	4	0	0	0	5	0	19	0	9	0	33	33	0	0	14	12	0	0	0	3					
バドミントン	1	3	4	2	5	3	5	2	4	10	18	28	2	0	3	0	0	0	0	0					
自転車	1	2	3	1	0	0	3	0	2	3	8	11	1	0	0	0	0	0	0	0					
カーリング	1	0	0	3	1	3	1	7	13	9	22	2	2	2	2	2	0	0	3	2					
総合運動	11	25	17	20	21	26	30	20	12	91	80	171	23	1	23	11	0	0	0	0					
合計	419	508	349	1,634	1,272	1,776	1,345	1,738	1,168	5,656	4,134	9,790	618	95	867	640	14	3	1349	59					

※2つの運動部活動に重複して加入している児童を含む(男30名、女16名、計46名)。

参考資料：社会体育における活動状況(活動児童数500人以上の種目について記載)

種目名	1～3年						4～6年						合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	種目名	合計
水泳	3212	2380	1675	1197	4887	3577	8464	空手	430	154	305	138	735	292	1027
サッカー	1319	197	1558	187	2877	384	3261	陸上	136	121	332	320	468	441	909
ミニバスケットボール	476	363	1011	1058	1487	1421	2908	器械体操	278	222	122	105	400	327	727
野球	613	79	1656	103	2269	182	2451	剣道	138	55	231	102	369	157	526
ダンス・バレエ・舞踊	229	672	176	570	405	1242	1647	バレーボール	51	91	100	276	151	367	518
卓球	103	128	396	409	499	537	1036								

<参考資料について>

※複数の社会体育活動に参加している児童がいる場合、重複してカウントされている場合がある。  
※社会体育活動については、学校で情報を把握しきれないこともあり、あくまでも参考数値である。

3 活動時間・活動日数の決め方について

調査項目	割合
学校で統一している。	35.8%
担当教職員に一任している。	41.3%
外部指導者に一任している。	6.2%
担当教職員と外部指導者と協議して決めている。	16.7%

4 平均活動日数及び活動時間について

週の平均活動日数(日)	1日の平均活動時間(分)	
	夏季	冬季
平均	4.2	3.8
	平日	110
	土・日	136

5 長期休業中の活動日数について

平均	夏季(日)	冬季(日)
	11.3	5.4

6 活動しない日の設定について

割合	
平日	
特に活動しない日を設定していない。	3.1%
週に1～4日活動しない日を設定している。	96.7%
平日は活動を行っていない。	0.2%

7 第1-3日曜日の活動について

割合	第1日曜日		第3日曜日	
	活動していない	活動している	活動していない	活動している
	97.9%	2.1%	97.9%	2.1%

資料5 平成29年度 中学校運動部活動 調査結果集計 【調査対象校数 161校(公立:156 国立:1 私立:4)】  
青森県教育庁スポーツ健康課(平成29年12月調査実施)

1 中学校運動部活動加入状況について

生徒数・加入数	生徒の状況											
	1年			2年			3年			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
生徒数	5,473	5,319	10,792	5,754	5,511	11,265	6,129	5,698	11,827	17,356	16,528	33,884
加入数	4,610	3,339	7,949	4,794	3,483	8,277	5,131	3,475	8,606	14,535	10,297	24,832
加入率	84.2%	62.8%	73.3%	83.3%	63.2%	73.3%	83.7%	61.0%	73.3%	83.7%	62.3%	73.3%

※ 生徒の運動部活動加入数の合計は、スキー・スケート部等において夏季に他の部に所属している生徒や、常設せず中体連主催の大会のみ参加する特別措置の運動部に所属している生徒は含んでいない。  
※ 調査は、国立・県立・公立・私立を併せた調査になっている。

2 男女別種目数及び加入数、顧問及び指導者について (※上位3項目は背景色)

種目名	種目別加入状況												顧問及び指導者						
	種目別活動数		1年		2年		3年		合計		教員( )は実技指導ができない人数		教員以外の学校職員		外部指導者				
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
	合計	割合	合計	割合	合計	割合	合計	割合	合計	割合	合計	割合	合計	割合	合計	割合			
陸上	133	136	663	518	769	555	718	543	2,150	1,616	3,766	182	25	113	45	4	0	26	5
体操(器械)	5	4	4	5	7	11	2	3	13	19	32	4	1	2	1	0	0	2	1
水泳	23	20	38	28	50	18	31	20	119	66	185	8	4	14	14	0	0	3	0
バレーボール	39	92	217	615	289	547	308	619	814	1,781	2,595	119	15	94	47	2	0	54	14
バスケットボール	78	97	569	467	536	577	662	546	1,767	1,590	3,357	128	29	98	42	2	0	47	16
サッカー	78	0	566	34	699	28	680	18	1,945	80	2,025	127	34	14	14	6	0	53	0
野球	141	0	897	22	865	19	956	15	2,718	56	2,774	243	37	20	18	12	0	48	0
ソフトボール	0	44	0	194	0	191	0	234	0	619	619	34	6	43	27	1	0	37	2
柔道	46	34	120	46	129	45	160	41	409	132	541	50	13	15	13	1	1	36	1
剣道	63	61	194	129	162	134	214	99	570	362	932	64	24	40	31	1	0	33	2
相撲	5	1	9	0	2	1	11	1	22	2	24	5	2	0	0	1	0	9	0
ソフトテニス	62	93	497	592	486	675	580	676	1,563	1,943	3,506	99	16	116	41	2	1	61	10
卓球	97	93	550	387	507	379	532	365	1,589	1,131	2,720	108	33	86	44	4	2	56	10
バドミントン	34	42	216	267	216	262	187	264	619	793	1,412	37	8	47	34	1	0	26	2
ハンドボール	2	1	12	4	11	6	14	1	37	11	48	2	2	1	1	0	0	3	0
新体操	3	8	4	28	15	27	11	24	30	79	109	2	1	12	8	0	0	5	2
スキー	3	2	5	1	7	2	3	4	15	7	22	3	0	1	0	0	1	6	0
スケート	3	1	0	1	2	0	6	1	8	2	10	5	4	2	0	0	0	0	0
フィギュアスケート	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1
アイスホッケー	6	1	23	0	22	1	27	0	72	1	73	6	5	1	1	0	0	17	0
フェンシング	1	1	4	0	5	0	3	1	12	1	13	1	1	1	1	0	0	1	0
空手道	2	1	1	0	2	3	2	0	5	3	8	1	0	1	1	0	0	1	0
硬式テニス	1	1	0	0	0	2	1	0	1	2	3	0	0	1	1	0	0	0	0
硬式野球	2	0	21	0	13	0	23	0	57	0	57	1	0	0	0	3	0	3	0
合計	827	734	4,610	3,339	4,794	3,483	5,131	3,475	14,535	10,297	24,832	1,229	260	722	385	40	5	528	66

3 平均活動日数及び活動時間について

	週平均活動日数(日)						1日の平均活動時間(分)					
	夏季4~10月		冬季11~3月		平日		祝、土、日曜日		平日		祝、土、日曜日	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
部数	827	734	827	734	827	734	827	734	827	734	827	734
平均	5.3	5.2	5.0	5.0	128	126	204	199				

4 長期休業中の活動日数及び活動時間について

	夏季						冬季					
	日数(日)		時間(分)		日数(日)		時間(分)		日数(日)		時間(分)	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
部数	827	734	827	734	827	734	827	734	827	734	827	734
平均	18.0	17.8	200	197	10.8	10.7	186	185				

5 土・日曜日の活動について

調査項目		割合
土・日曜日とも休養日としている。		3.3%
土・日曜日のいずれかを休養日としている。		94.9%
土・日曜日とも部活動を実施している。		1.8%

6 第1・3日曜日の活動について

第1日曜日		第3日曜日	
活動していない	活動している	活動していない	活動している
部数	1,533	28	1,534
割合	98.2%	1.8%	98.3%
			1.7%

※十和田市は、県立三本木高等学校附属中学校を含む。

資料 6 平成 29 年度 高等学校運動部活動調査結果集計【調査対象校数 86校 (公立：70 私立：16)】

青森県教育庁スポーツ健康課 (平成 29 年 12 月調査実施)

1 高等学校運動部活動加入状況について (県立全日制・定時制・通信制・私立/合計)

生徒数・加入数	状況											
	1年		2年		3年		4年		1年～4年合計		男女合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
生徒数	5,909	5,610	5,859	5,531	5,825	5,699	61	47	17,654	16,887	34,541	
加入数	4,280	2,578	4,013	2,367	3,853	2,248	27	5	12,173	7,198	19,371	
加入率	72.4%	46.0%	68.5%	42.8%	66.1%	39.4%	44.3%	10.6%	69.0%	42.6%	56.1%	

2 男女別種目数及び加入者数、顧問及び外部指導者について (県立全日制・定時制・通信制・私立/合計)

種目名	種目別加入状況(選手・マネージャー数)												外部指導者			
	1年		2年		3年		4年		顧問教員数		外部指導者		男女別部数		割合	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
陸上競技	69	59	342	232	326	202	212	8	2	112	30	25	3			
水泳	21	22	37	21	36	19	24	0	0	28	5	5	0			
硬式野球	63	0	683	66	667	77	655	64	0	151	5	32	0			
軟式野球	12	0	68	11	43	4	50	11	2	25	0	0	0			
バスケット	66	55	431	380	429	342	374	319	5	0	121	40	16	5		
バレーボール	32	54	212	301	173	261	149	234	0	0	86	34	33	3		
ソフトテニス	38	39	153	138	150	140	132	111	2	0	73	15	17	1		
卓球	61	54	233	118	173	101	189	97	3	173	0	94	28	36	4	
体操競技	2	4	7	8	9	18	6	8	0	0	6	1	3	1		
新体操	3	5	17	14	16	21	12	7	0	0	5	4	4	3		
柔道	33	20	68	24	78	20	71	26	0	1	51	7	12	1		
剣道	33	26	74	42	74	48	83	47	0	0	53	7	16	1		
弓道	36	38	221	209	247	210	229	181	0	0	51	25	30	5		
相撲	6	3	5	2	7	12	5	0	0	0	14	0	6	1		
ボクシング	11	5	39	16	33	9	28	11	0	0	20	0	6	0		
バドミントン	57	56	340	287	328	205	266	249	7	2	104	36	25	2		
ソフトボール	1	28	4	135	5	165	2	137	0	0	40	13	11	2		
ラグビー	22	3	124	26	136	17	140	22	0	0	44	0	13	0		
サッカー	54	9	556	104	505	89	546	100	0	0	108	4	20	0		
スキー	5	4	2	3	7	4	10	3	0	0	8	0	3	0		
スケート	4	2	4	0	4	5	3	2	0	0	4	0	2	1		
アイスホッケー	6	0	33	3	31	4	33	7	0	0	11	0	6	0		
登山	7	2	31	9	33	13	29	5	0	0	15	1	1	0		
レスリング	6	3	20	2	20	3	18	1	0	0	10	0	4	0		
自転車	5	3	25	7	16	2	14	6	0	0	9	0	4	0		
フェンシング	3	3	2	12	6	8	4	7	0	0	5	2	6	0		
ボート	6	7	27	29	18	32	28	15	0	0	18	3	6	0		
ハンドボール	9	9	89	77	68	53	69	52	0	0	14	3	18	2		
ウェイトリフティング	5	2	38	4	20	7	21	1	0	0	10	0	3	0		
ホッケー	1	1	5	6	4	5	5	0	0	0	2	1	2	0		
空手道	12	13	28	21	27	31	27	24	0	0	18	6	11	1		
アーチェリー	9	8	42	21	39	14	26	23	0	0	17	2	8	2		
テニス	37	36	197	111	102	195	111	0	0	59	15	20	0			
ヨット	2	2	7	2	13	4	9	8	0	0	5	0	3	0		
馬術	1	1	4	6	0	1	1	3	0	0	2	2	3	0		
少林寺拳法	3	3	5	3	4	1	8	8	0	0	4	1	3	0		
なぎなた	2	4	1	17	2	5	1	6	0	0	3	4	0	2		
ボウリング	9	5	68	11	30	6	38	5	0	0	15	4	3	0		
ゴルフ	4	3	6	3	7	4	17	7	0	0	7	1	1	0		
カーリング	0	1	1	6	0	2	0	7	0	0	0	0	2	0		
チアリーディング	0	6	0	42	0	49	0	35	0	0	2	9	0	1		
ダンス	5	5	8	38	10	52	10	31	0	0	2	6	0	0		
その他	2	5	23	11	8	11	15	11	0	0	9	2	1	2		
	783	608	4,280	2,578	4,013	2,367	3,853	2,248	27	5	1,435	316	420	43		

3 平均活動日数及び活動時間について (活動する部活動の平均)

	週の平均活動日数						1日の平均活動時間(時)					
	夏季(4～10月)		冬季(11～3月)		平日		土曜日		日・休日			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
県立全日制	5.6	5.8	5.3	5.4	2.4	2.4	3.6	2.8	2.9	2.7		
私立	5.6	5.1	5.4	4.9	2.5	2.4	3.3	2.6	2.8	2.4		
県立定・通制	3.8	4.2	2.4	3.2	1.0	1.1	0.2	0.1	0.2	0.2		

4 長期休業中の活動日数及び活動時間について (活動する部活動の平均)

	夏季						冬季					
	日数		時間(時)		日数		時間(時)		日数		時間(時)	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
県立全日制	19.4	19.4	3.5	3.5	10.5	10.5	3.1	3.1				
私立	20.3	18.6	3.6	3.3	14.0	12.9	3.2	2.9				
県立定・通制	5.1	5.8	0.9	1.3	1.3	1.2	0.4	0.5				

5 土・日曜日の活動状況について (県立全日制・定時制・通信制・私立/合計)

調査項目	男女別部数 (同好会含む)				割合
	男		女		
	男	女	男	女	
土・日曜日いずれも活動しない日としている	79	58	427	367	9.8%
土・日曜日いずれかを活動しない日としている	267	195			57.0%
土・日曜日いずれも活動している					33.2%

資料7 (公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者登録状況  
(2018年10月現在)

(人)

競技名	競技別指導者資格													指導者資格の全国平均	本県の指導者資格保有者数
	資格名	公認指導員						公認コーチ							
		指導員		上級指導員		全国	青森県	コーチ		上級コーチ		全国	青森県		
		全国	青森県	全国	青森県	平均	総数	全国	青森県	全国	青森県	平均	総数		
1	陸上競技	3,208	32	78	2	70	34	904	11	214	4	24	15	94	49
2	水泳	9,333	82	1,424	31	229	113	2,682	10	851	8	75	18	304	131
3	サッカー	29,761	257			633	257	5,359	46	2,486	23	167	69	800	326
4	スキー	645	23	2,166	46	60	69	90	3	18	0	2	3	62	72
5	テニス	2,325	37	1,248	19	76	56	323	2	261	1	12	3	88	59
6	ボート	408	4	2	0	9	4	290	1	78	2	8	3	17	7
7	ホッケー	103	4	0	0	2	4	545	6	98	0	14	6	16	10
8	ボクシング	7	0			0	0	282	9	15	1	6	10	6	10
9	バレーボール	15,380	158	817	20	345	178	592	3	464	7	22	10	367	188
10	体操	578	1	152	0	16	1					0	0	16	1
	体操競技					0	0	655	7	48	0	15	7	15	7
	新体操					0	0	443	5	13	1	10	6	10	6
	トランポリン					0	0	82	0			2	0	2	0
11	バスケットボール	8,696	214			185	214	685	13	254	1	20	14	205	228
12	スケート	411	17			9	17	206	3	53	0	6	3	14	20
13	レスリング	300	9	1	0	6	9	1	0	21	1	0	1	7	10
14	セーリング	297	6	99	0	8	6	137	3	91	0	5	3	13	9
15	ウエイトリフティング	148	3			3	3	142	1	45	1	4	2	7	5
16	ハンドボール	1,021	22	41	1	23	23	534	5	83	1	13	6	36	29
17	自転車競技	254	1	1	0	5	1	327	4	44	0	8	4	13	5
18	ソフトテニス	2,486	75	331	21	60	96	273	3	17	2	6	5	66	101
19	卓球	1,398	3	1,050	9	52	12	633	16	82	0	15	16	67	28
20	軟式野球	2,352	26			50	26	292	5			6	5	56	31
21	相撲	269	5			6	5	0	0			0	0	6	5
22	馬術	59	0			1	0	352	7			7	7	9	7
23	柔道	425	6			9	6	380	3	42	1	9	4	18	10
24	ソフトボール	11,687	199	604	0	262	199	316	2	64	1	8	3	270	202
25	フェンシング	496	10			11	10	98	0	45	1	3	1	14	11
26	バドミントン	2,257	23	445	0	57	23	359	2	67	1	9	3	67	26
27	弓道	5,154	76	439	0	119	76	68	2	0	0	1	2	120	78
28	ライフル射撃	4	0	0	0	0	0	255	4	15	0	6	4	6	4
29	剣道	1,592	20	267	1	40	21					0	0	40	21
30	ラグビーフットボール	996	29	51	2	22	31	839	20	118	2	20	22	43	53
31	山岳	882	2	878	6	37	8	50	1	63	2	2	3	40	11
	スポーツクライミング	412	8	93	1	11	9	18	0			0	0	11	9
32	カヌー	171	1	3	0	4	1	274	3	22	1	6	4	10	5
33	アーチェリー	719	9	16	0	16	9	39	0			1	0	16	9
34	空手道	2,458	16	1,367	14	81	30	631	7	419	4	22	11	104	41
35	アイスホッケー	350	18			7	18			4	0	0	0	8	18
36	銃剣道	683	28	43	1	15	29					0	0	15	29
37	クレイ射撃	311	8			7	8	3	0			0	0	7	8
38	なぎなた	894	18	83	3	21	21	176	3	32	0	4	3	25	24
39	ボウリング	733	12	6	0	16	12	144	2	5	0	3	2	19	14
40	ゴルフ	201	4			4	4					0	0	4	4
41	トライアスロン	337	5			7	5					0	0	7	5
合計		110,201	1,471	11,705	177	2,594	1,648	19,479	212	6,132	66	545	278	3,139	1,926

\*1人が複数の資格に登録している場合は各資格欄にそれぞれ1人分を計上

# 第2期スポーツ基本計画 概要

## 第1章 第2期スポーツ基本計画の策定に当たって

スポーツ基本法に基づく第2期スポーツ基本計画は、平成29～33年度の5年間における、スポーツ立国の実現を目指す上での重要な指針。

スポーツ審議会において審議を行い、平成29年3月1日に答申をとりまとめ。この答申を踏まえ、第2期スポーツ基本計画を策定。

第2期計画では、第2章で計画の理念を「スポーツの価値」として具体化。

第3章で施策体系を大括り化し（4つの政策目標）、数値目標を8から20に増加。

## 第2章 中長期的なスポーツ政策の基本方針

～スポーツが変える。未来を創る。 Enjoy Sports, Enjoy Life ～

スポーツの「楽しさ」「喜び」こそがスポーツの価値の中核であり、全ての人々が自発的にスポーツに取り組み自己実現を図り、スポーツの力で輝くことにより、前向きで活力ある社会と、絆の強い世界を創る。

### 1 スポーツで「人生」が変わる！

スポーツを「する」ことで、スポーツの価値が最大限享受できる。

スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことでみんながその価値を享受できる。

スポーツを生活の一部とすることで、人生を楽しく健康で生き生きとしたものにできる。

### 2 スポーツで「社会」を変える！

スポーツの価値を共有し人々の意識や行動が変わることで、社会の発展に寄与できる。

スポーツは共生社会や健康長寿社会の実現、経済・地域の活性化に貢献できる。

### 3 スポーツで「世界」とつながる！

スポーツは「多様性を尊重する世界」「持続可能で逆境に強い世界」「クリーンでフェアな世界」の実現に貢献できる。

### 4 スポーツで「未来」を創る！

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等を好機として、スポーツで人々がつながる国民運動を展開し、オリンピックムーブメントやパラリンピックムーブメントを推進。

本計画期間においては、「スポーツ参画人口」を拡大し、スポーツ界が他分野との連携・協働を進め、「一億総スポーツ社会」を実現する。

## 第3章 今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む施策

### 1 スポーツを「する」「みる」「ささえる」スポーツ参画人口の拡大と、 そのための人材育成・場の充実

#### 【政策目標】

ライフステージに応じたスポーツ活動の推進とその環境整備を行う。その結果として、成人のスポーツ実施率を週1回以上が65%程度（障害者は40%程度）、週3回以上が30%程度（障害者は20%程度）となることを目指す。

※スポーツ実施率：週1以上が42.5（障害者19.2）%、週3以上が19.7（障害者9.3）%

#### （1）スポーツ参画人口の拡大

##### ① 若年期から高齢期までライフステージに応じたスポーツ活動の推進

- ・スポーツの楽しみ方等を示す「ガイドライン」の策定・普及
- ・新たなスポーツや高齢者が取り組める「スポーツプログラム」の策定・普及

##### ② 学校体育をはじめ子供のスポーツ機会の充実による運動習慣の確保と体力の向上

（スポーツをする時間を持ちたいと思う中学生を増加（58.7%→80%）、スポーツが嫌い・やや嫌いである中学生を半減（16.4%→8%）、子供の体力を昭和60年頃の水準に）

- ・学習指導要領の改訂や全国的な体力調査等を通じた体育・保健体育の授業等の改善
- ・教員の研修、施設の整備等を通じた武道の指導の充実
- ・運動部活動の在り方に関する総合的なガイドラインの策定
- ・学校体育活動中の重大事故を限りなくゼロにするという認識の下での事故防止の取組の推進

##### ③ ビジネスパーソン、女性、障害者のスポーツ実施率の向上と、これまでスポーツに関わってこなかった人へのはたらきかけ

（成人のスポーツ未実施者の数がゼロに近づくことを目指す）

- ・ビジネスパーソンのスポーツ習慣づくりと民間事業者における「健康経営」の促進
- ・女性がスポーツに参画しやすい環境整備、障害者スポーツの裾野拡大に向けた取組の推進
- ・スポーツと食、エンターテインメント等他分野との融合やITの活用による魅力向上

#### （2）スポーツ環境の基盤となる「人材」と「場」の充実

##### ① スポーツに関わる多様な人材の育成と活躍の場の確保

- ・スポーツに関わる人材の数や属性の特徴などの全体像の明確化
- ・アスリートの雇用促進や地域での指導機会の拡大等によるキャリア形成の支援
- ・指導者養成のモデル・コア・カリキュラムの大学等への普及
- ・専門スタッフ、審判員、ボランティア等の育成・確保

##### ② 総合型地域スポーツクラブの質的充実

- ・総合型クラブの登録・認証等の制度と中間支援組織の整備（47都道府県）

- ・ P D C A サイクルにより運営の改善等を図る総合型クラブの増加 (37.9%→70%)
- ・ 地域課題解決に向けた取組を行う総合型クラブの増加 (18.4%→25%)
- ③ スポーツ施設やオープンスペース等のスポーツに親しむ場の確保
  - ・ ストックの適正化に関するガイドラインの活用促進
  - ・ 学校体育施設の開放の在り方に関する手引きを策定し施設を有効活用
  - ・ キャッチボール等が気軽にできる場としてオープンスペース等の有効活用の促進
- ④ 大学スポーツの振興
  - ・ 大学においてスポーツ分野を統括する部局の設置促進, アドミニストレーターの配置促進 (100 大学)
  - ・ 大学横断的・競技横断的統括組織 (日本版 N C A A) の創設を支援

## 2 スポーツを通じた活力があり絆の強い社会の実現

### 【政策目標】

社会の課題解決にスポーツを通じたアプローチが有効であることを踏まえ、スポーツを通じた共生社会等の実現、経済・地域の活性化、国際貢献に積極的に取り組む。

### (1) スポーツを通じた共生社会等の実現

#### ① 障害者スポーツの振興等

(障害者の週1回のスポーツ実施率: 成人 19.2%→40%, 7~19歳 31.5%→50%)

- ・ 地方公共団体等において障害者スポーツを総合的に振興する体制の整備
- ・ 障害のある人とない人が一緒に親しめるスポーツ・レクリエーションの推進
- ・ スポーツ施設のバリアフリー化, 不当な差別的取扱いの防止による利用促進
- ・ 全ての特別支援学校が地域の障害スポーツの拠点となることの支援
- ・ 総合型クラブへの障害者の参加促進 (40%→50%)
- ・ 障害者スポーツ指導者の養成の拡充 (2.2万人→3万人)
- ・ 活動する場がない障害者スポーツ指導者を半減 (13.7%→7%)
- ・ 障害者スポーツの理解促進により, 直接観戦経験者を増加 (4.7%→20%)
- ・ 全ての学校種の教員に対する理解促進, 学校における障害児のスポーツ環境の充実

#### ② スポーツを通じた健康増進

- ・ スポーツによる健康寿命の延伸の効果について, エビデンスの収集・整理・情報発信
- ・ 効果的な「スポーツプログラム」や「ガイドライン」の策定・普及
- ・ スポーツ事故等の情報収集, 安全確保に向けた方策のとりまとめ, 普及・啓発
- ・ 被災地でのスポーツによる身体的・精神的支援

#### ③ スポーツを通じた女性の活躍促進

- ・ 女子生徒の運動習慣の二極化を含め女性特有の課題の整理
- ・ 女性指導者増加に取り組むとともに, スポーツ団体における女性登用を促進
- ・ 女性トップアスリートについて女性特有の課題に対応した医・科学支援の実施

## (2) スポーツを通じた経済・地域の活性化

### ① スポーツの成長産業化

(スポーツ市場規模 5.5 兆円を 2020 年に 10 兆円, 2025 年に 15 兆円へ拡大)

- ・スポーツの成長産業化, 地域活性化の基盤としてのスタジアム・アリーナの実現
- ・各種スポーツ団体等と連携した新たなビジネスモデルの開発支援
- ・スポーツ経営人材の育成・活用, スポーツ団体におけるビジネス手法, IT の活用

### ② スポーツを通じた地域活性化

- ・スポーツツーリズムの推進 (スポーツ目的の訪日外国人数を 138 万人→250 万人, スポーツツーリズム関連消費額を 2,204 億円→3,800 億円)
- ・地域スポーツコミッションの設置促進 (56→170), 地域コミュニティの維持・再生
- ・オリンピック・パラリンピック教育やホストタウンの推進

## (3) スポーツを通じた国際社会の調和ある発展

- ・国際競技団体等における役員数の増加 (25 人→35 人) や政府間会合への積極的な参加等を通じて国際スポーツ界の意思決定に参画
- ・スポーツ・フォー・トゥモローによりスポーツの価値を 100 カ国以上 1,000 万人以上に広げる
- ・諸外国におけるスポーツ情報を戦略的に収集・分析, スポーツ団体等における国際業務の体制強化
- ・ラグビーワールドカップ 2019 及び 2020 年東京大会について, 政府の基本方針に基づき円滑な開催を支援, ワールドマスターズゲームズ 2021 関西等に協力

## 3 国際競技力の向上に向けた強力で持続可能な人材育成や環境整備

### **【政策目標】**

国際競技大会等において優れた成績を挙げる競技数が増加するよう, 各中央競技団体が行う競技力強化を支援する。

日本オリンピック委員会 (JOC) 及び日本パラリンピック委員会 (JPC) の設定したメダル獲得目標を踏まえつつ, 我が国のトップアスリートが, オリンピック・パラリンピックにおいて過去最高の金メダル数を獲得する等優秀な成績を収めることができるよう支援する。

### ① 中長期の強化戦略に基づく競技力強化を支援するシステムの確立

- ・中央競技団体は中長期の強化戦略を実践し, JSC, JOC 及び JPC は中央競技団体の強化戦略を多面的に支援。国は, ここで得た知見をターゲットスポーツの指定に活用
- ・ナショナルコーチやサポートスタッフの配置と資質向上, 世界トップレベルのコーチの育成

### ② 次世代アスリートを発掘・育成する戦略的な体制等の構築

- ・地域ネットワークを活用したアスリートの発掘や種目転向の支援
- ・将来メダルの獲得可能性のある競技やアスリートをターゲットとした集中的な強化



- ・国民体育大会にオリンピック競技種目の導入を促進
- ③ スポーツ医・科学，技術開発，情報等による多面的で高度な支援の充実
  - ・ナショナルトレーニングセンターや国立スポーツ科学センターを包含する「ハイパフォーマンスセンター」の機能強化
  - ・トップアスリートに対してスポーツ医・科学，情報等を活用し多方面から支援
- ④ トップアスリート等のニーズに対応できる拠点の充実
  - ・ナショナルトレーニングセンター中核拠点の拡充棟を2020年の約1年前までに整備し，オリンピック競技とパラリンピック競技の共同利用化を実現
  - ・ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点の活用

#### 4 クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの価値の向上

##### 【政策目標】

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて，クリーンでフェアなスポーツ（スポーツ・インテグリティ）の推進に一体的に取り組むことを通じて，スポーツの価値の一層の向上を目指す。

- ① コンプライアンスの徹底，スポーツ団体のガバナンスの強化及びスポーツ仲裁等の推進
  - ・全てのアスリート等が主体的に取り組むことができる教育研修の推進
  - ・スポーツ団体の組織運営をモニタリング・評価し，必要な助言・支援を実施
  - ・スポーツ仲裁自動応諾条項の採択等により，全てのスポーツ団体におけるスポーツに関する紛争解決の仕組みの整備を促進
- ② ドーピング防止活動の推進
  - ・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等に向けてドーピング検査員の育成をはじめ必要な体制の整備
  - ・ドーピング防止活動に係る情報を共有できる仕組みの構築
  - ・アスリートやサポートスタッフ，医師や薬剤師等に対する教育と，国際的なドーピング防止活動への貢献

#### 第4章 施策の総合的かつ計画的な推進のために必要な事項

計画の広報活動の推進。SNSをはじめ多様なメディアを活用し国民に直接発信。大きな潜在力にふさわしいスポーツ関連予算の更なる強化はスポーツ関係者の総意。併せて，予算の効率的・効果的な活用と，スポーツ団体等における公的資金の適正使用を徹底。

スポーツ振興投票制度（toto）等を活用，スポーツに対する寄附や投資を活性化。

計画の進捗状況をスポーツ審議会等において定期的に検証。検証プロセスを公開し，検証結果を次期スポーツ基本計画の策定における改善に反映。

## 青森県スポーツ推進審議会委員名簿

任期 2 年（平成29年11月13日～平成31年11月12日）

No.	氏 名	所属（職名）等	備考
1	伊 藤 武 男	元はしかみ総合スポーツクラブ会長	
2	岡 村 良 久	青森県スポーツドクターの会会長	
3	川 越 流美子	青森県なぎなた連盟理事長	
4	川 畑 智 子	青森県スポーツ推進委員協議会委員（女性委員会副会長）	
5	木 村 徳 栄	青森市卓球協会参与（前県スポレク連盟副会長）	
6	工 藤 敦 子	車力楽笑スポーツクラブ クラブマネジャー	
7	齋 藤 春 香	あおもりアスリートネットワーク代表	
8	齋 藤 実	青森県中学校体育連盟会長（青森市立浪岡中学校長）	
9	齋 藤 和香美	前八戸市小学校体育科教育研究会会長	
10	成 田 一二三	青森県市町村教育委員会連絡協議会教育長会会長	
11	花 田 慎	青森県高等学校体育連盟会長（県立青森西高等学校長）	
12	船 場 亜 希	青森県スケート連盟強化委員	
13	本 間 正 行	弘前大学名誉教授	会長
14	松 本 範 子	東北女子大学家政学部教授	
15	目 澤 伸 一	青森県スポーツ推進委員協議会会長	
16	山 本 美紗子	青森県女子体育連盟会長	
17	渡 邊 陵 由	八戸学院大学健康医療学部准教授	

## スポーツ推進計画改訂小委員会委員名簿

No.	氏 名	所属（職名）等	備考
1	本 間 正 行	弘前大学名誉教授	委員長
2	工 藤 敦 子	車力楽笑スポーツクラブ クラブマネジャー	
3	齋 藤 春 香	あおもりアスリートネットワーク代表	
4	花 田 慎	青森県高等学校体育連盟会長（県立青森西高等学校長）	
5	目 澤 伸 一	青森県スポーツ推進委員協議会会長	
6	渡 邊 陵 由	八戸学院大学健康医療学部准教授	

（所属（職名）等は、在任中のもの）